

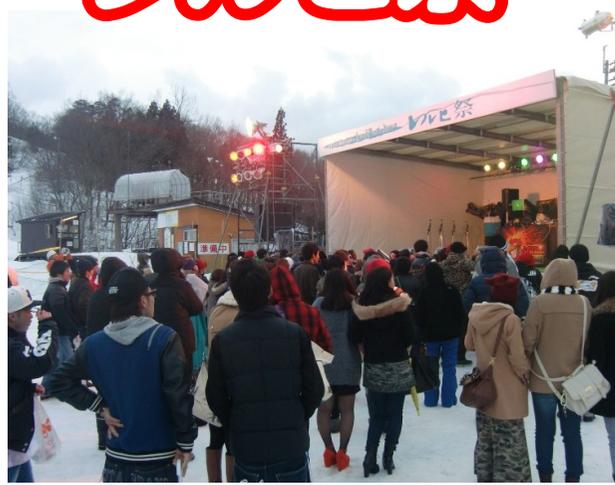
たくさんの市民つどい 冬彩る祭典

レルヒ祭

日本でのスキー発祥を記念し、上越の地を全国に広めようと、毎年行われている「レルヒ祭」。今年も金谷山公園を会場に、大勢の若者などで賑わいました。

屋台村では、工夫を凝らした品物を持ち寄って販売した市内の高校など、地元産品たっぷりの多くのお店が軒を連ねました。

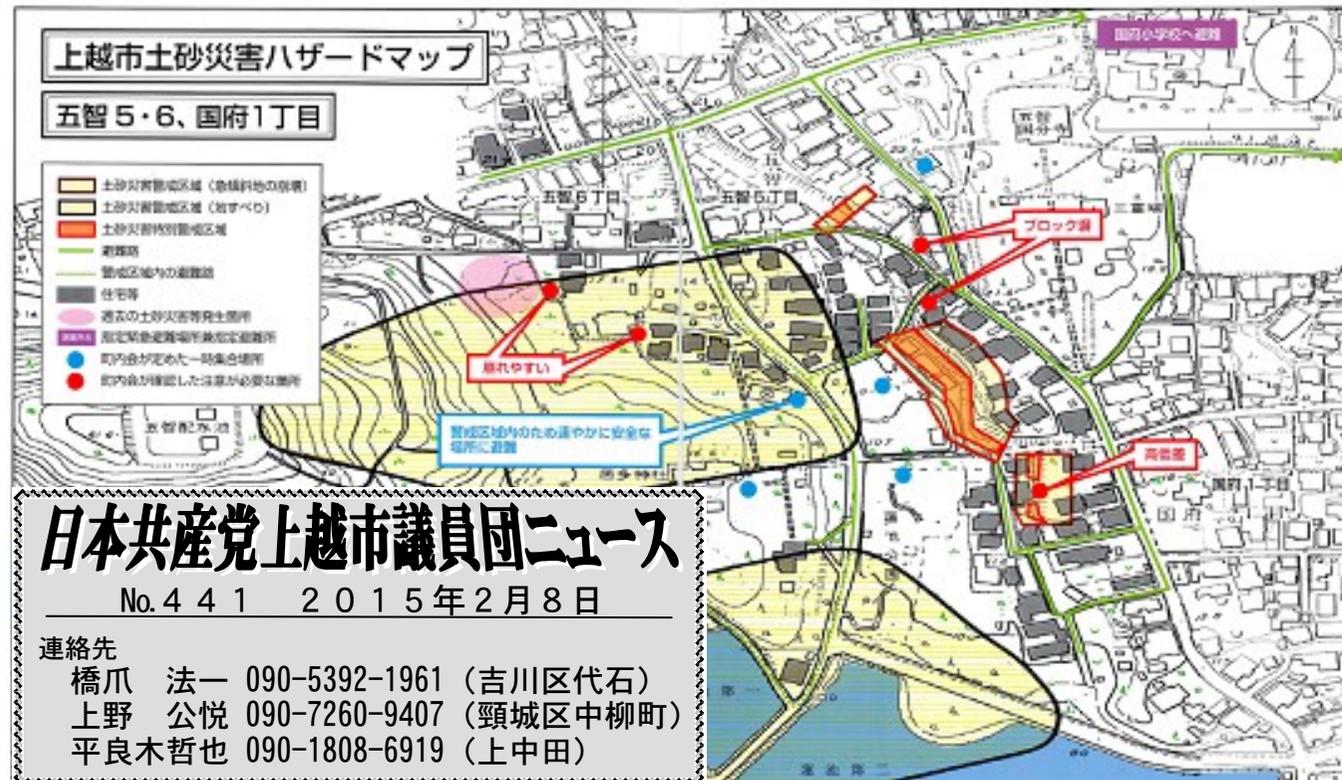
参加した平良木議員は、「上越にはいい物がたくさん。それを大事にしていこうという意欲ある若者もたくさんいます。地元のものをもっともって育てていけたらいいですね」と語りました。



土砂災害ハザードマップ 今年度は14種類を配布

市では、災害発生の危険性が高まった場合に、地域のみなさんが安全に避難できるよう、土砂災害が発生するおそれのある場所を示した「土砂災害ハザードマップ」を作っています。

今年度は、五智5・6、国府1丁目、上正善寺、中正善寺など、14種類のマップを作成し、当該地域に配布しています。



日本共産党上越市議員団ニュース

No. 441 2015年2月8日

連絡先

橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)

談合疑惑解明に新たな一手

住民監査請求を準備

ガス水道局の本支管工事をめぐり、談合疑惑は、市が公正取引委員会に事件を通知したとしてから、約1年が経とうとしています。

しかし、いまだに公正取引委員会の動きは見えません。また、市としても、公正取引委員会の捜査を見守るとして、独自の取り組みをしている姿がなんら見えず、全容解明からはほど遠い状況です。

市民からは、「このままだとやむやにされてしまうのか」「もっとハッキリ見えるようにすべきだ」といった声が、引き続き寄せられています。

そうした中、このほど市民有志が、専門家の手も借りながら、全容解明に向けて新たな一手を講じようとしていることが、明らかにされました。

この取り組みは、日本共産党議員団などが呼びかけ、市内の市民

団体に属する市民有志などが中心になって、市監査委員に向けて、住民監査請求を行うもので、具体的には、左のような文面の請求を行います。

2月9日(月)午後、監査委員に請求を提出し、その後、記者会見を行う、取り組みの趣旨を説明することになっています。

上越市職員措置請求書

別紙記載の上越市ガス水道局発注の本支管工事(旧上越市)において、「落札業者」欄記載の上越市ガス水道局入札参加資格業者(旧上越市本支管工事対象業者)が、予め受注調整を行うという不法行為を行い、各工事につき予定価格の3パーセントに相当する1億3114万8000円の損害を上越市に与えた件につき、上越市長が別紙「落札業者」欄記載の参加業者に対する損害賠償請求をす

ることを怠っているため、別紙「落札業者」欄記載の参加業者に、対する損害賠償請求をするよう勧告することを求める。

